

多文化共生への推進

《 フジキン東北工場 事例紹介 》



2025.11.12

株式会社 フジキン東北工場

副工場長 土屋 隆明

1. 会社概要



売上高



2,142 億円(連結)

2024年度

従業員数



6,734 人

(グループ合計)
2025年3月31日現在

創業



95 周年

1930年5月創業

資格手当の対象資格数



120 個

理系・文系を含めて、該当する資格を
とればとるほど毎月手当がつきます。

超モノづくり部品大賞

日刊工業新聞社/モノづくり日本会議 主催



21 年連続受賞

開発に注力しており、これが成長の
原動力となっています。

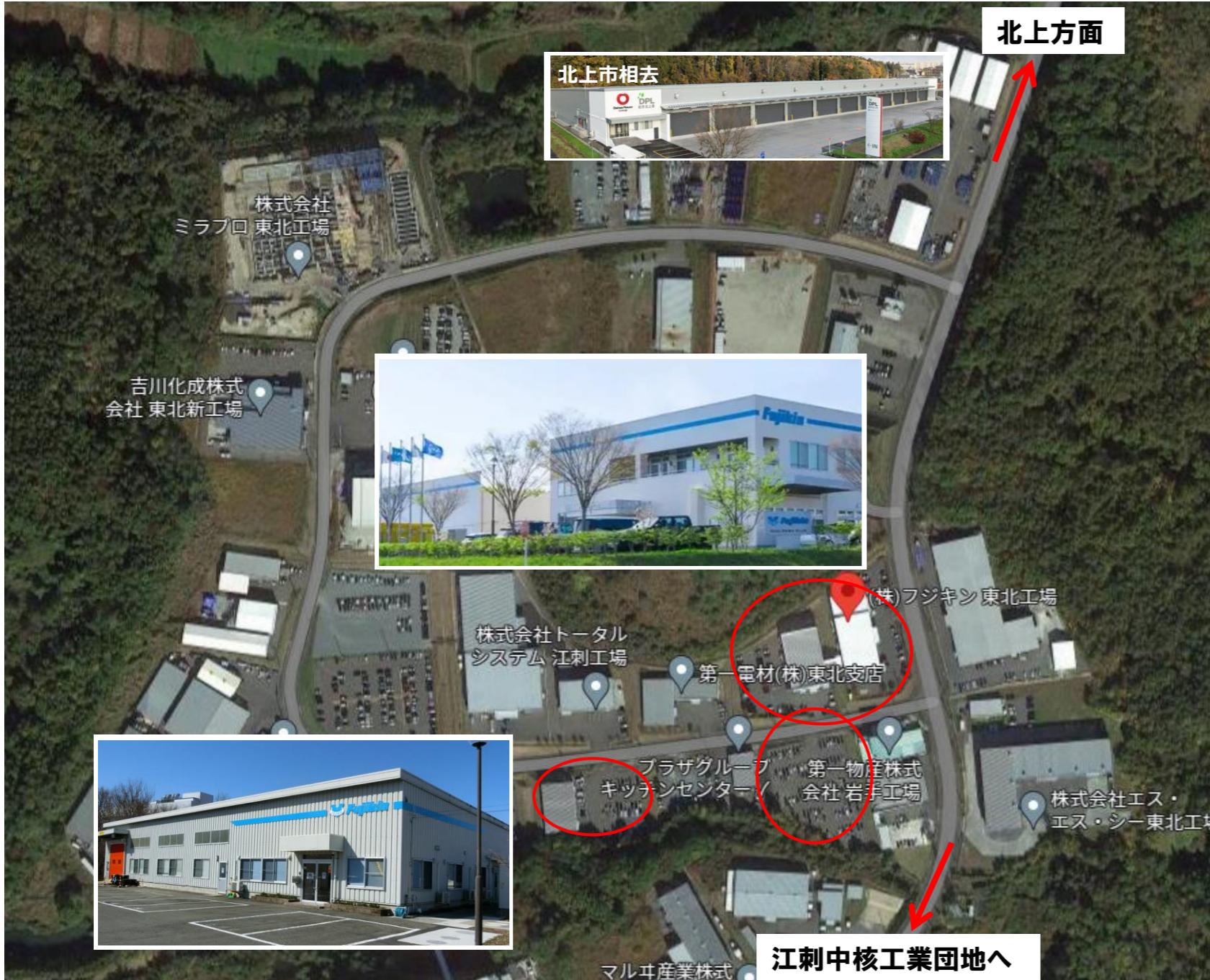
社会人ドクター数



11 人

博士号取得支援のための費用を会社が
全額負担。これまでこの制度を使い
挑戦しています。

2. 東北工場 概要



総敷地面積：17,103m²
総延床面積：5,257m²

<従業員数>	387名
社員	110名
外国籍直接雇用	118名
パート社員	8名
派遣社員	151名

('25.3.31時点)

3. 外国籍人材の雇用背景

奥州市の人口現状は、2050年までの見通しで 減少し続ける 想定。

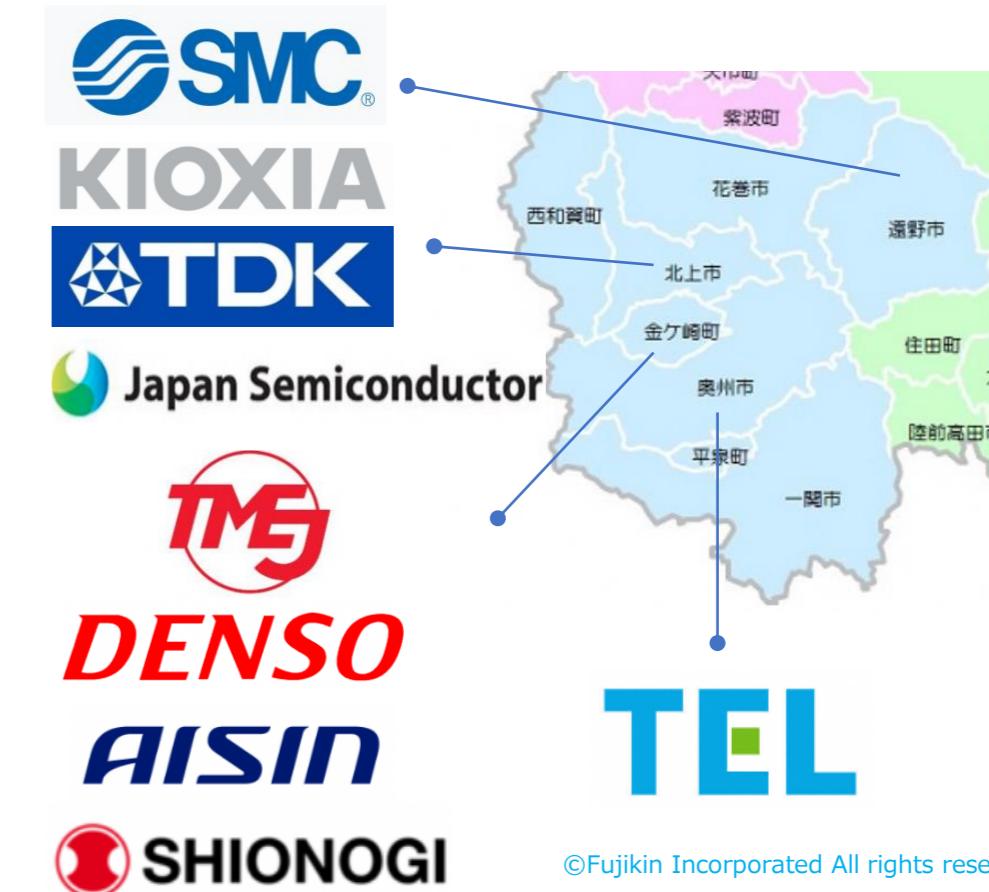
特に、働き盛りの年齢層が激減していく。

その一方で、岩手県南地域は 超大企業が ひしめき合う 激戦地域 です。

岩手県奥州市の人口推移 実績と予測



岩手県南地域 代表企業様



総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口、
総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数を基にGD Freak!が作成

3. 外国籍人材の雇用背景

この影響を受けて、2015年頃から 従業員を確保するために 日本人(派遣従業員)の時給は急上昇しており、必要人数の確保が難しい状態となっている。

超大企業に 従業員が集まり、中小企業は人員不足に陥りやすい 状況が年々深刻化、中小企業が 必要な従業員を確保するために 新たな取り組み を迫られた。



3. 外国籍人材の雇用背景

2017年に、初めて ベトナムの技能実習生 3名を採用して、多文化共生ができる環境を少しづつ創ってきました。

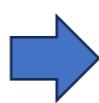
2025年現在で、ベトナム人が 約120名、インドネシア人が 約20名 在籍しております。



2018年4月 花見会 水沢公園にて
1期生 3名 が入社して4カ月ほど経過

4. 外国籍人材との共生を目指して

まず始めに大切なことは、外国の文化を知ること。
またそこから日本の文化を理解すること。



日本は近代的で安全な国。
規則を守り、その規則も非常に多い。



平均年収は46万円
日本との差は9倍
(22年調査)



移動手段はバイク
車も年々増えているが超高級品
(交通マナーの徹底に難あり)



食事は屋外で取っている光景が良く
目につく、界隈は非常に騒がしい
(楽しくハツラツとした会食が多い)

4. 外国籍人材との共生を目指して

外国と日本の文化の違いを理解した上で、日本での生活に溶け込みやすく、日本の文化を知り愛着を持ってもらうための活動を日々続けております。

地域の特性に合わせた入社教育(生活編)

住 トラブル説明_騒音2/2

THL-C-1-002-001_Rev0 Fujikin

ホームパーティーは騒がず・室内で！

Tổ chức tiệc tại nhà và ở trong phòng.

日本人はベトナム人と比べて、ホームパーティーを行う習慣がありません。
寮やアパートの前でパーティーすることは禁止。(バーベキューエリアなどはOK)

So sánh giữa nhật với viet thi nhật không có những bữa tiệc ngoài trời.

Nghiêm cấm tổ chức những bữa tiệc trước nhà hoặc chung cư.



自宅前ホームパーティー
イメージ



大声は出さないで
自分のアパートなど
室内で

監察通报事例

窓などは締めて音が
漏れないように

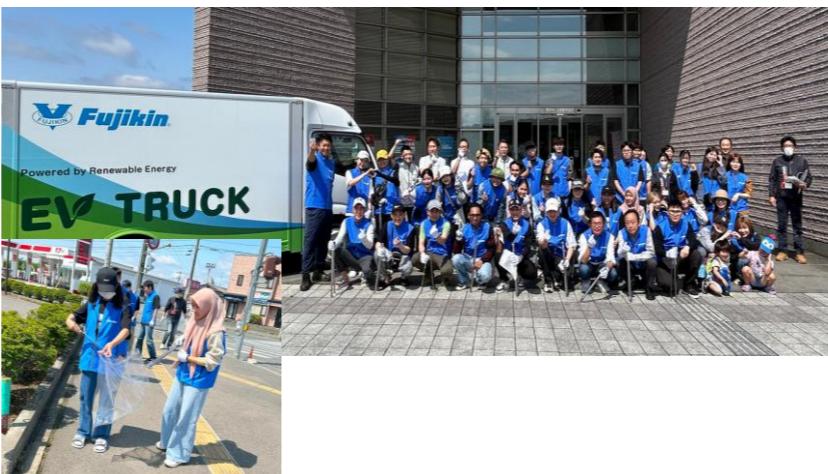
法律改訂など、日本のマナーを徹底指導



家族の理解と本人の覚悟を持った者を採用



日本の綺麗な街づくりと地域の愛着を 図るために、清掃活動を実施



毎週日本語勉強会を実施し、特に私生活 でコミュニケーションが図れるよう教育



多文化理解のためにそれぞれの国の 食べたい料理を作り、食事会を開催



4. 外国籍人材との共生を目指して

彼らは 母国で暮らしている家族の生活水準を 維持・向上すること。
この目的のみで入国するケースが多い。

当社 採用時においては、その先にある 将来の夢 を考えさせ、家族とその夢を共有し、
質の高い 実習生活を送り続けられるよう取り組み、また 夢の実現を支援しております。



5. 最後に



人口減少が続く奥州市において、県外だけに留まらず 国外も含めて 働きに来て頂く人財(材)は 奥州市の更なる発展のために必要不可欠 と考えております。

吾々 企業は 雇い入れた外国籍の方々 について、地域にご迷惑をお掛けすることなく、早期に日本の生活に馴染んでもらうために 様々な取り組みを行っております。

それでも、日々の生活の中で 地域の皆様に ご心配やご迷惑を お掛けする事があるかと存じます。

これからも、ご指導・ご鞭撻を頂戴しながら 更なる改善を図って参ります。

今回の講演に ご来場頂いた方々の多文化共生への理解が深まり、困っている外国籍の方を見掛けた際に お声掛け頂けるような 温かい地域環境づくりを目指し、これからも 奥州市様と一緒に 多文化共生への取り組み を続けていきます。

